

殺菌力試験

1. 試験材料及び方法

1) 供試品

- ①F-75
- ②バクテナス
- ③ノンバイラス

2) 供試菌

Pseudomonas aeruginosa (ATCC 27853)

3) 試験菌液の調製

BHI 液体培地 (Brain Heart Infusion) に供試菌を 1 白金耳接種し、36℃で 18~24 時間培養する。培養後の菌液を TrypticSoy 平板培地に塗抹し、36℃で 18~24 時間培養する。培養後の平板培地より菌体を掻き取り、0.1%トリプトン 0.85%NaCl 溶液中でガラスビーズと共に 3 分間攪拌し懸濁させ供試菌液を調製する。

4) 殺菌力試験

滅菌試験管に供試品 9mL 供試菌液 1mL を加え、室温で委託者指定時間 (10 秒) 静置作用させたものを試料とする。また、対照試験として、供試品の代わりに滅菌水を加えたものを対照試料とする。滅菌試験管に SCDLP 液体培地 (不活性化剤) 9mL と試料 1mL を加え、混和させ不活性化させる。その後、段階希釈により菌数を測定する。対照試験は試料の代わりに対照試料を用いる。

2. 試験結果

2) 殺菌力試験結果

供試菌液 : 8.2×10^8 /mL

供試品		菌数	平均
F-75	n-1	0×10^1	0×10^1
	n-2	0×10^1	
	n-3	0×10^1	
対照試験	n-1	6.9×10^7	7.0×10^7
	n-2	4.9×10^7	
	n-3	9.2×10^7	

以 下 余 白